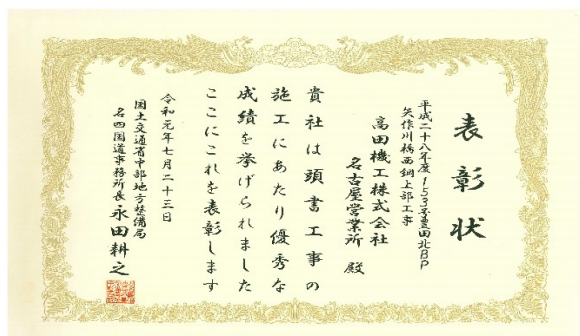


名四国道事務所長より「優良工事表彰」を頂きました



○ 工事諸元

工事件名	: 平成28年度 153号豊田北BP矢作川橋西鋼上部工事
施工場所	: 愛知県豊田市平戸橋町～豊田市扶桑町
橋梁形式	: 鋼3径間連続非合成箱桁橋
橋長	: 244.5m (最大支間長 108.0m)
幅員	: 12.85m
鋼重	: 1,729t
床版形式	: 鋼・コンクリート合成床版
架設工法	: 送出し工法及びTCベント工法
工期	: 平成28年8月5日～平成30年10月15日

○ 工事概要

本工事は、豊田外環状の一部である国道153号豊田北BPのうち矢作川を渡河する橋梁の鋼上部工事である。上部工は橋長244.5mの鋼3径間連続非合成箱桁橋で、支承は高い減衰性能を有する超高減衰ゴム支承を採用し、床版形式は鋼・コンクリート合成床版である。

A1～P2間の2径間は手延べ機を使用した送出し工法、P2～P3間はトラッククレーンベント工法で架設した。渡河部のP1～P2間は送出し支間長が108mと施工規模が特殊な工事のため、現場管理が難しい工事として中部地方整備局の事業研究発表会でも「長支間の鋼橋架設の課題について」と題して報告されている。(支間長100mを超える送出し工法の実績は中部地方整備局管内では10件程度と事例が少ないと言われている)

※論文アドレス (<http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/2019kannai/ichiran.html#content1>)

○ 現場技術者からのコメント (現場代理人: 安江克泰)

今回の優良工事表彰ありがとうございました。個人的には初めての長支間送出し工法であったため、良い経験をさせていただいたと共に今後に向けての糧になったのではと感じております。

今後も安全第一に頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

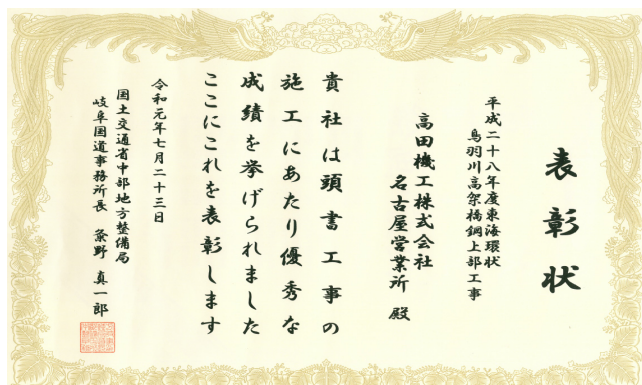


矢作川橋全景



送出し架設状況

岐阜国道事務所長より「優良工事表彰」を頂きました



○ 工事諸元

工事件名	: 平成28年度 東海環状鳥羽川高架橋鋼上部工事
施工場所	: 岐阜県山県市西深瀬
橋梁形式	: 鋼3径間連続非合成細幅箱桁橋
橋長	: 198.0m (最大支間長 91.0m)
幅員	: 22.26m
鋼重	: 1,711t
床版形式	: 鋼・コンクリート合成床板
架設工法	: 送出し工法及びTCベント工法
工期	: 平成29年1月18日～平成31年3月22日

○ 工事概要

本工事は、東海環状自動車道高富IC（仮称）東の鳥羽川渡河部に位置し、架橋個所は鳥羽川と3本の市道を跨ぎ、上空には高圧線が横断する3径間連続箱桁の鋼上部工事である。そのため、中央径間の架設はトラッククレーンの進入が困難なことからバックヤードを設けた手延べによる送出し工法を採用し、全主桁(4主桁)同時に架設をした。また、市道の通行止め期間を短縮させるため、送出し後の桁降下量を200mmに設定、更に市道上の足場の組立を送出し時に並行して作業を出来るよう別途作業構台を設け、架設後の足場の組立による市道通行止めを無くした。その結果、市道通行止めを2ヶ月短縮することが出来た。また、地域住民とのコミュニケーションを積極的にとると共に地元小中学校、岐大、名大の学生を対象（5回のべ204名）現場見学会を実施した。

○ 現場技術者からのコメント（監理技術者 松本 剛）

関係者の皆様、ご指導ありがとうございました。東海環状自動車道の現場を2期連続担当した事から、前回以上の成績を目標に現場条件変更・客先要望対応を計画的に取組んだ結果が表彰に繋がったと考えています。

今後も安全で品質向上に向け頑張ってまいります。よろしくお願いします。



鳥羽川高架橋全景



高富小学校による見学会